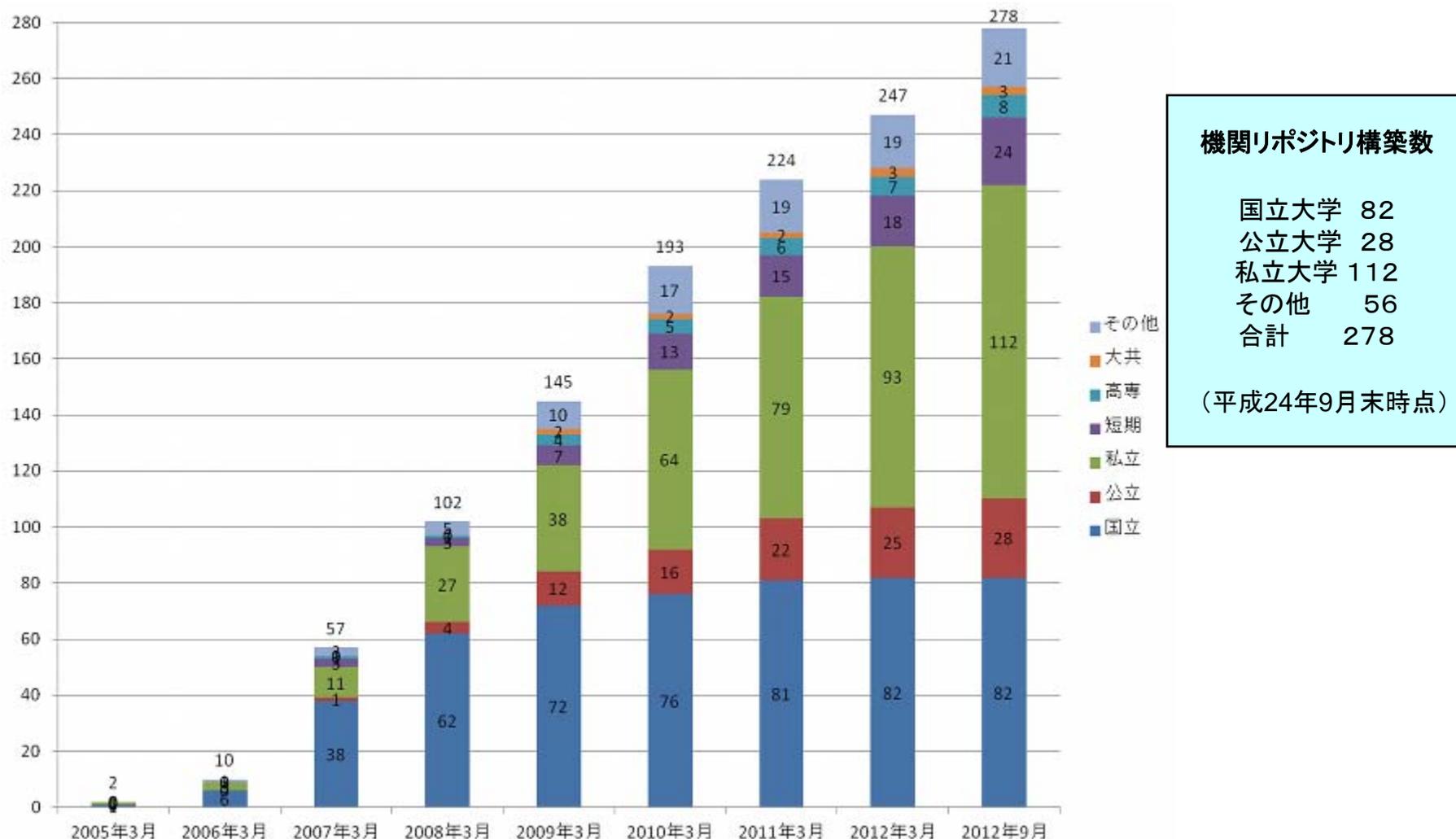


## 資料4

科学技術・学術審議会学術分科会  
研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会  
(第54回) 平成24年10月19日(金)

# 機関リポジトリの整備状況

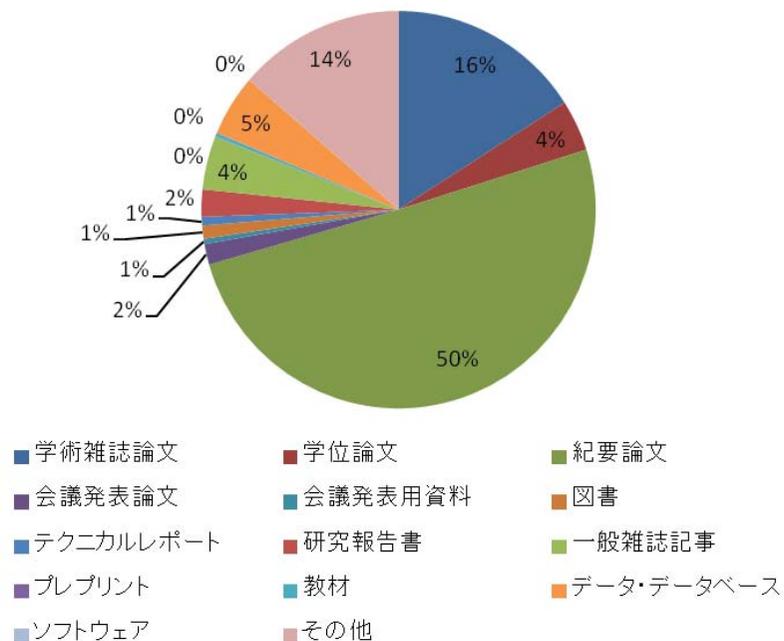
# 機関リポジトリ構築状況



※ 各年度3月末時点の数値(H24年度は9月時点)

# 日本の機関リポジトリ収録コンテンツ(本文あり)

収録コンテンツ本文あり件数: 1,049,439件



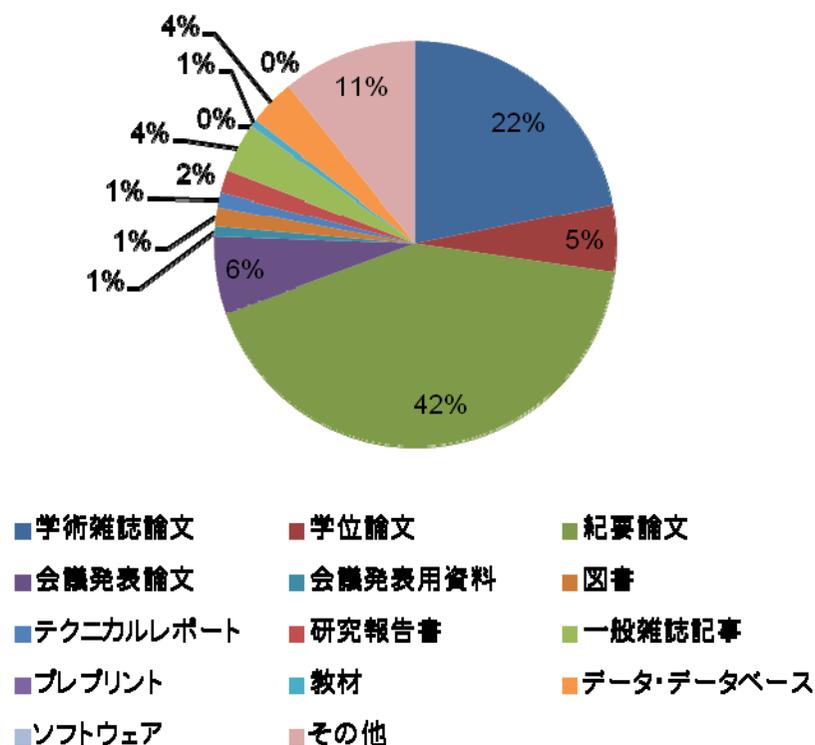
資料の種類別	コンテンツの数
学術雑誌論文	167,399
学位論文	43,716
紀要論文	529,068
会議発表論文	17,700
会議発表用資料	4,527
図書	11,268
テクニカルレポート	7,356
研究報告書	23,159
一般雑誌記事	45,718
プレプリント	324
教材	3,131
データ・データベース	52,406
ソフトウェア	24
その他	143,643
合計	1,049,439

出典: IRDBコンテンツ分析システム <http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php> (参照: 2012/10/01)

\*注: 大学以外のすべての機関のコンテンツ数を含む

# 日本の機関リポジトリ収録コンテンツ

収録コンテンツ総数: 1,419,572件(メタデータのみを含む)



資料の種類別	コンテンツの数	本文の割合
学術雑誌論文	310,591	53.9%
学位論文	76,361	57.2%
紀要論文	598,329	88.4%
会議発表論文	87,430	20.2%
会議発表用資料	11,470	39.5%
図書	22,282	50.6%
テクニカルレポート	15,873	46.3%
研究報告書	25,718	90.0%
一般雑誌記事	56,171	81.4%
プレプリント	354	91.5%
教材	8,418	37.2%
データ・データベース	52,659	99.5%
ソフトウェア	30	80.0%
その他	153,886	93.3%
合計	1,419,572	73.9%

出典: IRDBコンテンツ分析システム <http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php> (参照: 2012/10/01)

\*注: 大学以外のすべての機関のコンテンツ数を含む

# JAIRO Cloud(共用リポジトリサービス)

H24 4月 正式サービス開始

## 目的

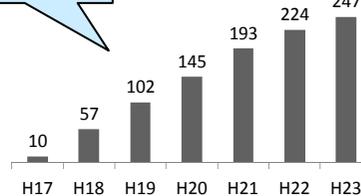
大学等の教育研究成果を発信する機関リポジトリの構築を推進し、オープンアクセスの進展を図るため、独自でリポジトリの構築・運用が難しい機関に対する共用リポジトリを提供する。

## 現状

大学等との連携により推進している「**学術機関リポジトリ構築連携支援事業**」等により支援。

→約250機関が機関リポジトリを構築し、約110万件の教育研究成果を発信。

機関リポジトリ数の伸び



## 課題

国立大学は9割構築済み。公立は2割、私立は1割にとどまる。

→独自でリポジトリの構築・運用が難しい機関に対して、各機関が共通利用できる共用リポジトリのシステムを構築することが必要。

(科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会「大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について(審議のまとめ)」(平成21年7月))

## 改善策

### JAIRO Cloud(共用リポジトリ)の正式稼働と利活用促進

→導入説明会、操作説明会等を開催し、利用の拡大を図る(平成24年度)

※平成24年9月末現在の申請機関数は次のとおり

申請数	内訳					うち公開機関数
	国立	公立	私立	短期	その他	
77	1	6	60	6	4	27

多様な機能を実現するとともに**収録規模の拡充、システムの分散化、コンテンツの長期保存**を図る必要あり

